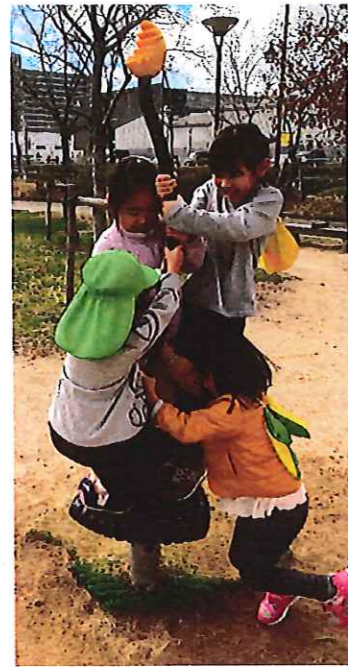


幼児だより 2月号



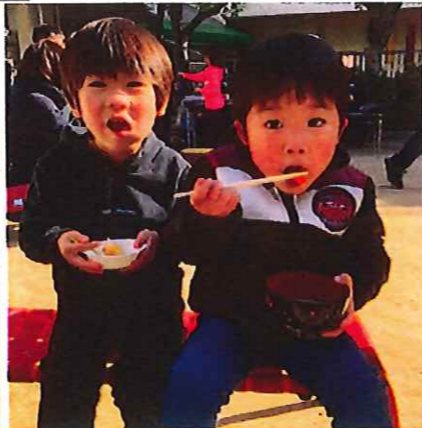
年明け、保育園に登園するとお部屋には伝承遊びのコーナーが！
普段触れない玩具に興味津々な子どもたち…。特にコマが人気です。いっぱい遊んでいました♪



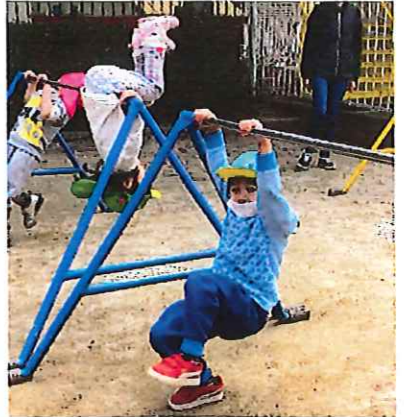
ビニール袋を使って凧作りもしました。
完成した凧は潮江緑遊公園で飛ばしましたよ！
公園までは歩いて30分…。
ずいぶん長距離を歩けるようになりました。



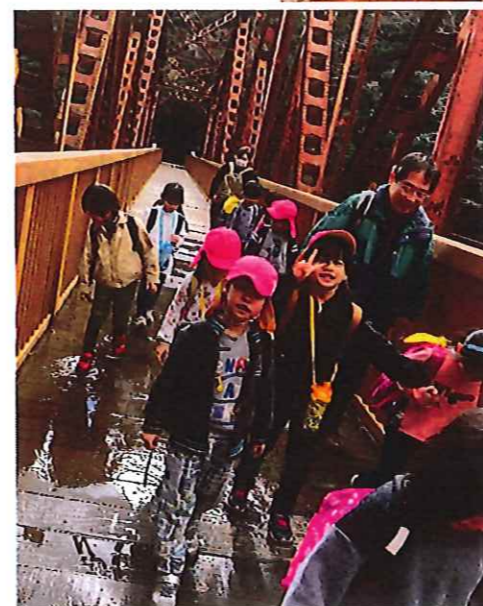
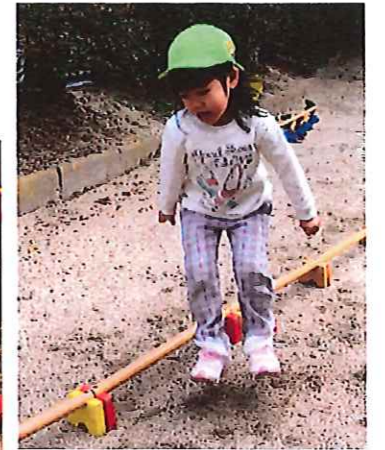
2020年、最初の行事はおもちつき☆
つきたてのおもちは美味しかったですね。
沢山のご協力ありがとうございました！



1月は地震の避難訓練を行いました。
避難するだけでなく、保育園にある非常食の乾パンと水も試食してみました。
「サクサクしてる」「おいしい」と反応は様々。「おかわりしたい」という声もありました(笑)



サーキット遊びに挑戦！
隣の公園を使っていろいろな運動遊びを楽しみました。自分の運動能力に合わせてできる動きを繰り返し楽しんでいましたよ。
玉入れ用の玉を頭にのせ、バランスをとって歩く運動は子どもからの意見です！おもしろい！



1月末、くじらさんはバス、電車を乗り継いで廃線ハイクへ行ってきました！



生活発表会に向けての取り組みも始まっています！
今年は劇・ダンス・楽器の3チームに分かれて発表します。どのチームも子どもたちの意見を尊重しながらみんなで作り上げている最中です。
詳細は来月号に…。
お楽しみに！！

「たこ、つくってよかった！」

みんなで凧揚げをした日、凧ですっと遊んでいたのはRちゃんとHくん。
紐を短くしたり長くしたり、腕を高く上げてみたりと、「どうすれば凧が高くあがるか」考えていました。
色々工夫しているうちに、Rちゃんは走らなくても凧があがることに気づきました。



保育士：Rちゃん、どうやったらたかくあがるの？
Rちゃん：あのね、かぜがふいてるほうにからだをむけたらいい！

Rちゃんはたこが風を受けて膨らんだり揚がったりすることに気が付いて、どの方向に向いたら風が良く凧に当たるかかんがえたんですね。

Rちゃん：あとは、あがったときにピンピンってしたらいい！

なるほど。凧が浮いたタイミングを見て紐を引っ張ると、確かに高く揚がっていきます。Rちゃん、大発見です。そしてついに…。



Rちゃんは、自分の中で「頭より高く上げたい」と目標を持っていて、それを達成することが出来ました。

その後も、公園遊びが終わるまでの45分間、Hくんと一緒にずっと凧揚げを楽しそうにし続けたRちゃん。

その楽しそうな様子は、一度凧揚げを止めていたお友だちが「もういっかいしたい〜」と言って凧を持ってRちゃんたちの周りで遊びだすほどでした。

Rちゃんの発見は、まさに遊びを通した自らの気づきであり、Rちゃんにとって大切な物だったと思います。
Rちゃんは、遊びながら「ずっとたこあげできる！たこ、つくってよかった！」と言っていました。
熱中できる遊びに出会えた喜び、熱中して遊んだからこそその気づきに出会えた喜びをRちゃんが体いっぱい、心いっぱいに感じられたことがなにより嬉しいです。

しぜんな ゆずりあい

うみの部屋の伝承遊びのコーナーで楽しそうに福笑いをして遊ぶRちゃん、Nちゃん、Aくん。
渡し役のRちゃんが「これ、ほっぺ。これ、くちだよ。」と伝えながらAくんに渡しています。
そしてそれを笑いをこらえてみているNちゃん。並べ終わると完成した顔を見て3人で大笑い。



楽しそうな様子を見て、Kくんが、「ね〜、Kもやらして」とやってきました。

すると、Aくんが「いいよ。じゃあ、べつのもってこよう。」と言って、Kくんと遊ぶ準備をします。



RちゃんとNちゃんも遊びの続きをします。



Aくん・Kくんグループが準備している間に、Rちゃん・Nちゃんグループが遊び終わりました。

もともとアンパンマンの方を遊びたかったKくんはアンパンマンの方に移動しました。
Aくんは、「あ〜、Kちゃん！」
すると、そこへ「じゃあ、Rとやる？」とRちゃんがAくんのところへきてAくんとRちゃんでき遊び始めます。



KくんもNちゃんに渡し役をしてもらって、福笑い遊びを始めました。

この短いやりとりの中で、皆がお互いのことを少しずつ考え合っていることがよく分かります。
並べる役と渡す役をお互いにかわりばんこで遊んだり、終わった子が次の子とペアになったり、順番を待っている子のために別の道具を出したりする小さい思いやりが、自然に生まれているのがすてきでした。

人間関係を学んでいますね～

憧れのおいのり



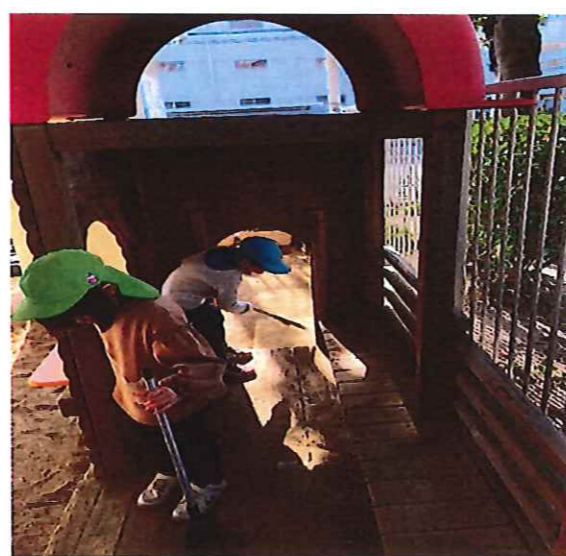
保育士が砂場の掃除をしていたのを見ていたRくんは自分の遊んでいた三輪車を直して「Rも掃除したい」と言うとうきを取りに行きました



周りにいた友達に砂がかからないように「こっちから掃くわR」と言いながら砂場の淵に乗っていた砂を端から綺麗にしていきます!!!



その姿を見たMちゃんが「やりたい」と言うとRくん「いいよ、一緒にしよ」一緒にほうきを取りに行きミニハウスの中を掃いています

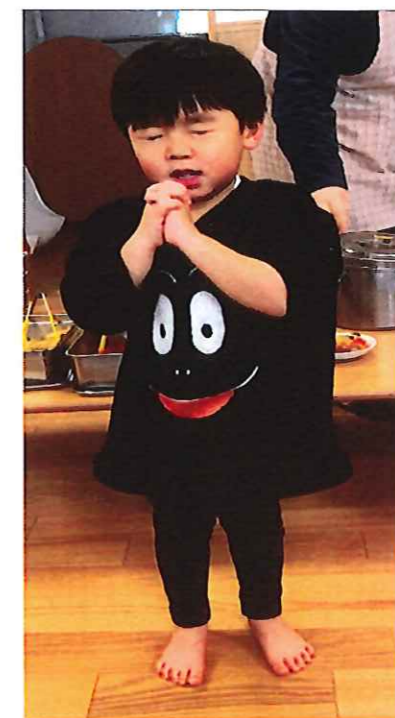


Rくん「こう掃くと掃きやすいねんで」と声をかける姿も見られました自分の経験を友達に伝えて、一緒に楽しむ姿がとても素敵なRくんです



給食の前に食膳の祈りをいるか・くじらのお当番さんがしてくれています。保育士「今日のお当番さんお願いします」Fくん「Fくんがやりたい」保育士「お友達とする？」Fくん「1人でやる」そういうと立って前に出てきました。すると、そらグループのみんながFくんに協力して「静かにしよ」「しー」「前に立ってるよ」「Fくん頑張れ」保育士が言わなくても子ども達がお互いに言い合ってお祈りできる環境を作ってくれました。

おいのりします
 今日も晴れです、みんなが仲良く遊べました
 今日は晴れです、次は給食を食べます
 おいのりします、天の神様
 美味しいごちそうをありがとうございます
 この小さいお祈りをイエスさまの御名をとおしておささげいたします
 アーメン。いただきます



この日は雨でしたがFくんはお祈りで晴れと言いました。ですが、そらグループの子は1人も「違うよ、雨だよ」「間違えてる」など言いませんでしたみんなはFくんが1人でお祈り出来た事を褒めて・喜んでくれました。「Fくんすごいじゃん」「1人で出来たね」「かっこいいね」「頑張ったね」と言われたとっても嬉しそうでした☆人の間違いを正すのではなく、Fくんの頑張りを一緒になって喜べるそらグループのみんなとお兄ちゃん・お姉ちゃんに憧れて「ぼくもこれがしたい」と思ったFくんの姿を見て異年齢保育だからこそ見られた姿だと思いました。